

平成23年5月11日
独立行政法人農畜産業振興機構

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の
肥育牛補填金単価について【平成22年度第4四半期】

平成22年度第4四半期（平成23年1月から3月まで）に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第5の6の（10）のアの（ア）の肥育牛補填金の単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種	交雑種	乳用種
—	35,600円	55,300円

注：本事業は、新たな事業として基金の運営、管理を平成22年4月から開始したことから、補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、肉用牛肥育経営安定対策事業（マルキン事業）同様に、上記補填金単価を減額することがあります。

- 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（抜粋）
第5の6の（10）のアの（イ）
県団体は、肥育安定基金の全額を取り崩してもなお支払うべき肥育牛補填金の額に不足が生じる場合は、理事長の承認を受けて、補填金単価を減額することができるものとする。

連絡先

畜産経営対策部 肉用牛肥育経営課
担当：石原、藤島
電話：03-3583-8562

(参考1)

肥育牛補填金の単価の算定について

【平成22年度第4四半期】

単位：円／頭

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	833,140	557,836	304,217
平均生産費 (B)	830,541	602,424	373,383
差額 (C)=(A)-(B)	2,599	△ 44,588	△ 69,166
補填金単価 (C) × 0.8	—	35,600	55,300

注：100円未満切り捨て

(参考2)

平均粗収益等の算定基礎

【平成22年度第4四半期】

(単位:円/頭)

区 分	平均粗収益及び平均生産費		
	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
平均粗収益 (A) = ① + ②	833,140	557,836	304,217
副産物価格 ①	11,564	6,766	6,377
主産物価格 ② = a × b	821,576	551,070	297,840
28市場平均枝肉価格(円/kg) a	1,726	1,170	680
28市場平均枝肉重量(kg) b	476	471	438
生産費総額 ③	843,264	617,386	380,040
もと畜費	378,887	192,353	84,582
飼料費	294,768	311,338	224,912
うち流通飼料	292,276	310,243	223,984
うち牧草放牧	2,492	1,095	928
敷料費	11,453	8,856	7,768
光熱水料及び動力費	8,598	6,950	5,454
その他の諸材料費	411	366	450
獣医師料及び医薬品費	8,224	5,130	2,446
賃貸料及び料金	3,656	1,463	2,355
物件税及び公課諸負担	5,004	2,511	2,116
建物費	14,506	11,666	6,433
自動車費及び農機具費	15,702	9,841	6,603
生産管理費	1,966	1,332	517
飼養労働費	72,751	44,580	26,986
うち家族労働費	68,065	43,096	25,674
費用合計	815,926	596,386	370,622
支払利子	14,236	5,821	2,635
支払地代	379	217	126
自己資本利子 ④	10,456	13,527	5,615
自作地地代 ⑤	2,267	1,435	1,042
平均生産費 (B) = ③ - ④ - ⑤	830,541	602,424	373,383
差額 (C) = (A) - (B)	2,599	△ 44,588	△ 69,166